

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期

<p>中間評価の実施体制</p> <p>東京都都市整備局住宅政策推進部で中間評価を実施</p>	<p>中間評価の実施時期</p> <p>計画期間（H27～H32）の中間年度の翌年度</p> <p>公表の方法</p> <p>東京都ホームページで公表</p>
---	---

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>都営住宅の耐震化率：公営住宅等整備事業や公営住宅等ストック総合改善事業の実施により93.2%となっており、当初現況値と比較し16.2%改善されている。耐震化により都営住宅の防災機能が高まり、居住者の安全性の向上はもとより、都営住宅の有する地域防災拠点機能が向上した。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>都営住宅の耐震化率：周辺地域を含め良質な住環境の整備が図られており、快適な市街地の形成に寄与している。</p>

○特記事項（今後の方針等）

<p>都営住宅の耐震化率：併存店舗付住棟の耐震化を促進させるため、店舗買取制度の導入や説明業務の委託化の強化により、合意形成を加速させる。</p> <p>※各指標共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金システムでは、現況値、目標値には小数点以下の数値入力ができないことから整数としている。 ・中間目標値は計画策定時に設定したものではなく、このたびの中間評価のために次のとおり設定した。中間目標値：当初現況値と最終目標値の差を設定した期間（年数）で除し、29年度までの期間（年数）を乗じて得た数値 ・各指標の現況値、中間目標値、最終目標値、中間実績値は、目標値と実績値に差が出た要因欄に〔参考〕として示したとおり。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	中間目標値	—
	中間実績値	0—
〔参考〕住宅の耐震化率 当初現況値：79.8%（H21年度）、中間目標値：設定なし、最終目標値：95%、中間実績値：—		
2	中間目標値	90—
	中間実績値	93—
〔参考〕都営住宅の耐震化率 当初現況値：77%（H25度末）、中間目標値：90.1%、最終目標値：100%、中間実績値：93.2%		